



## 大地震が発生 その時、あなたはどうする。

いつ、どこで起こるかわからない地震。突然大きな地震に襲われたとき、みなさんは適切な行動がとれますか？

地震が発生したとき、被害を最小限に抑えるには、一人ひとりがあわてず適切な行動をとることが重要です。地震の揺れを感じたときや緊急地震速報を確認したときに身を守る行動をとれるよう、日頃から地震が起こったときのことをイメージして、どう行動するかを考える習慣をつけましょう。

### 地震の際の行動例

#### 家の中では

- 転倒のおそれのある家具などからはすみやかに離れ、丈夫なテーブルやベッドの下にもぐり込み身を守る。
- 戸を開けて出入り口を確保する。
- あわてて外に飛び出さない。
- その場で火を消せるときは火の始末、火元から離れている場合には揺れがおさまるまで待つ。

#### 屋外では

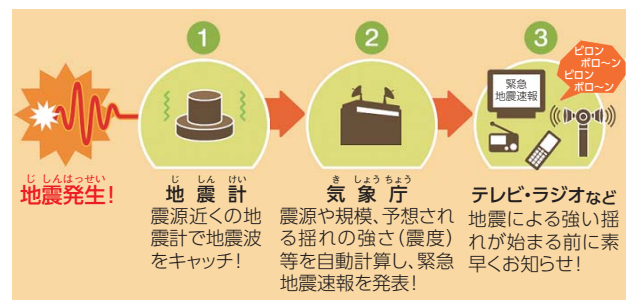
- 倒壊のおそれのある石垣やブロック塀から離れる。
- 瓦や割れたガラスなどの頭上からの落下物に注意して、建物から離れる。
- がけや急傾斜地などの近くでは、落石やがけ崩れに注意し、その場から離れる。

#### 運転中は

- ハンドルをしっかりと握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する。
- エンジンを切り、揺れがおさまるまで車外に出ない。
- 車を置いて避難する場合には、車のキーはつけたままにする。

#### 緊急地震速報とは

緊急地震速報は、大きな地震が発生したときに、地震の発生直後に地震計でとらえた観測データを素早く解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）、予想される揺れの強さ（震度）を自動計算し、強い揺れがくることを事前に知らせる警報です。



(資料：気象庁)

#### 人が大勢いる場所では

- あわてず、身を守る行動をとり、従業員や係員の指示に従う。
- あわてて出口や階段に殺到しない。
- つり下がっている照明など上からの落下物に注意する。

#### 列車やバスの中では

- 座席に座っている場合には低い姿勢をとり、立っている場合には、手すりやつり革にしっかりとつかまる。
- 停車後は乗務員の指示に従う。

### 内陸直下型地震（高山・大原断層帯地震）

岐阜県には100を超える活断層が密集しており、県内のどの地域においても震度6以上の内陸直下型地震が発生する可能性があります。

高山市にも高山・大原断層帯と呼ばれる活断層があり、県の発表した内陸直下型地震に係る震度分布解析・被害想定調査結果による被害想定では、最大震度7の地震が想定されています。

出典：県危機管理政策課

#### 高山・大原断層帯震度分布図

